

令和7年 二番茶情勢について

令和7年6月2日現在
J A 静岡経済連 茶業課

1 気象状況

平均気温は、5月中旬は上回りましたが、5月上旬・下旬は下回るなど、急激な気温上昇は見られない状況です。降水量は、5月上旬～下旬まで平年を上回りました。降水日が多かったことから、日照時間は少なくなりました。

(アメダス菊川牧之原)

時期		平均気温 (°C)		降水量 (mm)		日照時間 (h)	
		本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差
5月	上旬	16.1	▲0.5	133.0	+64.8	63.7	+2.7
	中旬	19.1	+1.6	98.5	+26.5	55.4	▲7.4
	下旬	18.7	▲0.1	84.0	+17.1	23.6	▲48.5

2 生産状況・姿勢

- (1) 早場所では、6月10日前後からの開始が予定されています。一部生産を開始した工場がありますが、芽伸びは前年よりやや遅れている状況です。
- (2) 仕入れ要望が強いことから、積極的な生産を呼び掛けています。生産開始は、一番茶摘採後50日程度を目安とした生産が進められる見込みです。
- (3) 二番茶期は梅雨時期と重なることから、降雨を見据えた摘採計画を立てるとともに、二番茶生産販売対策に基づいた生産を徹底しましょう。

3 流通状況

- (1) 生産前から二番茶の確保に動く茶商が見られ、在庫はかなり少ない見込みです。
- (2) リーフ原料として良質な形状（一番茶合組用）の需要は一定量ある見込みですが、本年の一番茶品質は比較的安定していたことから、一番茶合組用よりも量販店向けやドリンク原料等、数量確保の傾向が強くなっています。
- (3) 一番茶同様に二番茶てん茶の引き合いも強く、紅茶需要も一定量あります。
- (4) 相場状況確認のため、(株)静岡茶市場の入札取引を活用しましょう。

4 静岡茶市場及び鹿児島茶市場の取扱状況

近似値数量・単価比（6月2日現在）

(単位：kg・円・%)

項目		令和7年		令和6年			前年比	
		数量	単価	月日	数量	単価	単価比	単価差
静岡茶市場	県内産	202	1,250	6/3	2,705	660	189.4	+590
	県外産	10,079	969	5/23	7,134	550	176.1	+419
鹿児島茶市場		142,256	1,227	5/22	147,492	816	150.4	+411

*鹿児島茶市場は、5/30からの数値。

(株)静岡茶市場情報（6月2日現在）

鹿児島県本土産（えい・知覧）が5月30日より入荷し、二番茶の取引が始まりました。品種は、ゆたかみどり・さえみどりが中心で、被覆茶が1,800～1,200円露地物1,200～900円でのスタートとなっています。

以上